

法人（事業所）理念	子どもの生き抜く力を育み、あらゆるジリツ【自立、自律】を受け入れる共生社会の実現を目指します				
支援方針	自分らしく生き抜くために、人への信頼感をもち、自己肯定感・自己効力感を育みます。 ①表現・記憶力 ②思考・推理力 ③集中力 ④自己コントロールの力をつけ、一人でできることを増やすための支援を行っています。				
営業時間	平日 11：00～20：00 第一・第三土曜日 9：00～18：00	送迎実施の有無	送迎あり		
	支援内容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 来所時、送迎時の子どもたちの様子を把握し共有します。 自分で支度をし、体調の悪い時は自分で伝えるように支援していきます。 自分で考えて、選択できる力をつけていきます。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ体操、長縄、リズムに合わせて体を動かすなどの運動を行い、体のバランス力を養って体幹を鍛え、筋肉の持久力を高めていきます。 折り紙、ハサミ、ブロック、粘土などで指先の動きをコントロールする力をつけていきます。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> タイムテーブルの確認による時間の意識や経過を感じられるように支援します。 小集団での楽しい遊びや関わりの中で、自分の気持ちを知り前向きな行動になれるように支援します。 季節の変化への興味などの感性を育てていきます。 			
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 小集団での協力ゲームで仲間意識を持ち、楽しみを味わってもらいます。 ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化した支援を行います。 自己紹介や自分の思いをみんなの前で発表する機会をつくります。 異年齢の子との関わり方を知ってもらいます。 			
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> 子どもとの信頼感を育み、子どもの感情や不安に寄り添い、周囲の人との安定した関係を継続するための支援を行います。 あいさつが自然にできるように意識づけをしていきます。 役割分担のある遊びなどの協力ゲームを設定しています。 土曜日の活動で公共交通機関の利用やイベントに参加し地域との交流を行います。 			
	家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 教室で気になることがあれば保護者に報告し、聴き取りを行います。 子どもの発達上の課題についての気づきを促し、家庭と連携してその後の支援に取り組みます。 関係者・関係機関との連携による支援体制を構築します。 			
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な移行を想定した子どもの発達の評価を行い、保護者の意向確認や状況共有を行います。 他機関との連携をはかり、支援体制を構築します。 				
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域の公共施設を利用し、地域資源を活用しています。 学校、福祉サービス等と連絡を取ったり連携会議等を行って情報共有しています。 				
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 年に2回以上の外部研修を受講し、子どもの特性に応じた対応など、職員の資質向上に努めています。 内部研修や勉強会を実施します。 				
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 夏まつり、ミニ運動会、クリスマス会 体験活動（芋の苗植え・芋ほり）土曜教室のみ 				